

平成 27 年 7 月 28 日

日本植物病理学会九州部会
会員各位

部会長 平八重一之

平成 27 年度日本植物病理学会九州部会のご案内

— 第 66 回講演会および第 39 回シンポジウム —

会員の皆様におかれましてはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、平成 27 年度日本植物病理学会九州部会講演会を九州病害虫研究会（九病虫）との共催により下記の通り開催いたします。本年度も一般講演に加えて、特別講演、ビデオワークショップ、シンポジウムの開催を予定しています。

特別講演では、深見公一郎氏に最近話題のドローンの農業分野における利活用について、ビデオワークショップでは、松崎正文氏に薬剤防除試験についてわかりやすく紹介して頂きます。

第 39 回シンポジウムでは、「病害診断の現場から」をテーマに、北島有美子氏に長崎県の事例を、戸田世嗣氏と児玉賢幸氏に熊本県の事例をそれぞれ紹介して頂きます。また、門田育生氏に転炉スラグを用いた土壌病害の防除について講演して頂きます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願いいたします。

本講演会から学生優秀発表者賞を設け、特に優秀な学生発表者を表彰することとなりました。大学の先生方におかれましては、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

記

1. 日程

平成 27 年 11 月 11 日（水） 講演会（九病虫第 90 回研究発表会秋季大会）

9:00～11:00 口頭発表（予定）

11:00～11:50 ビデオワークショップ

「薬剤スクリーニングから圃場試験まで—糸状菌および細菌—」

日本農薬

松崎正文 氏

13:00～13:50 特別講演

「農業分野におけるドローン（無人航空機）の利活用について」

農研機構・九州沖縄農研 深見公一郎 氏

14:00～17:00 口頭発表（予定）

平成 27 年 11 月 12 日 (木) 9 : 00 ~ 11 : 40 (予定)

9:00 ~ 9:40 九州部会総会 (地域貢献賞、奨励賞、
学生優秀発表者賞授賞式)

9:40 ~ 11:40 第 39 回シンポジウム

1) 病害診断の現場から

「長崎県の事例—PCR-DGGE 法によるアスパラガス立枯病
の圃場診断の試み—」

長崎県病害虫防除所 北島有美子 氏

(9:40 ~ 10:10)

2) 病害診断の現場から

「熊本県での事例—普及組織と連携した病害診断の現状と課題—」

熊本県農林水産部生産局 戸田世嗣 氏

熊本農研センター生産環境研究所 児玉賢幸 氏

(10:10 ~ 10:50)

3) 「転炉スラグを用いた持続的土壌 pH 矯正による土壌伝染性
フザリウム病の被害軽減効果」

農研機構・東北農研 門田育生 氏

(10:50 ~ 11:40)

2. 会 場

ホテル セントヒル長崎

〒850-0052 長崎市筑後町 4-10

Tel: 095(822)2251

*会場ホームページ

(<http://www.kouritu-nagasaki.jp/sainthill/>)

公共交通機関でのアクセス

: 長崎駅から徒歩 8 分



3. 参加費

- ・参加費は部会当日に徴収させていただきます。
- ・九州病害虫研究会・日本植物病理学会・日本応用動物昆虫学会のいずれかの個人会員および法人会員は 1,000 円 (非会員は 2,000 円) です。
- ・学生は会員・非会員にかかわらず 1,000 円です。

・平成27年9月30日時点で本年度会費未納の方は非会員扱いとなります。ご注意ください。

4. 講演申込みと期限

- ・講演要旨の送付をもちまして、講演申込みとさせていただきます。
- ・日本植物病理学会に所属する学生（学部生または大学院生）が筆頭発表者の場合、その旨申込メールに記載して下さい。学生優秀発表者賞授賞候補者となります。
- ・講演申込み期限：平成27年9月25日（金）17時必着
- ・申込み先：日本植物病理学会九州部会事務局
庶務幹事 川上 顕（E-mail：akirak@affrc.go.jp）

講演要旨をメールで送信時、表題を「講演申込み（発表者氏名）」、そして、要旨ファイル名を「発表者氏名.doc」として下さい。受取りの連絡はメールにて1～3日後に送付します。届かない場合は正しく受け付けられていない可能性がありますので再送付してください。

5. 講演要旨作成要領

植物病理学会本大会の作成要領（Microsoft Word 使用に限る）で作成して下さい。講演要旨様式は、日本植物病理学会ホームページ（研究集会(2015)―九州部会 (<http://www.ppsj.org/meeting.html>)）からダウンロードして下さい。

<ページ設定>

- －用紙サイズ：A4 用紙，縦方向
- －余白：上 15mm，下 30mm，左 25mm，右 25mm
- －文字数と行数：文字数 50，字送り 9pt，行数 51，行送り 14pt

<配置> 両端揃え（所属略称のみ右端揃え）

<フォント>

- －サイズ：すべて 9pt
- －日本語用フォント：MS 明朝（和文題目のみ 太字で MS ゴシック）
- －英数字用フォント：Times New Roman，すべて半角
- －句読点：「，（全角コンマ）」「.（全角ピリオド）」
- －イタリック指定：題目・本文中とも学名等はすべてイタリック表記。

<書式>

- －和文講演者氏名：講演者が複数の場合は中点で区切り，発表者名の前に○印を付ける。所属が異なる場合は，「¹」「²」（上付き）で区別する。
- －英文講演者氏名と英文題目：氏名は family name, first name initial, middle name initial の順に書き，first name initial, middle name initial の間にはスペースを空けない。タイトルとの間は，コロン（:）で区切る。
- －本文は、9行以内で記載する。

一所属略称：括弧「()」に入れ、行スタイルを「右揃え」に変更。中点で区切り、必要があれば^{1, 2}（上付き）の印を付ける。

6. 講演方法

講演時間

1 題 15 分（講演 12 分、質疑 3 分）を予定しています（講演の申込状況によって変更する場合があります）。

<ファイルの受付>

Microsoft PowerPoint (Windows)2000 以上を用いた液晶プロジェクターによる講演のみを受け付けます。アニメーション効果の使用は控えてください。

パソコンへのインストールは CD - R のみです。USB メモリは使用できません。（発表データを CD-R に記録後、データが PC に読み込めることを必ず確認下さい）

<インストールの方法>

発表当日の午前・午後の開始 20 分前までに発表者ご自身でインストールして動作をご確認ください。

7. 部会およびシンポジウムの講演要旨集

今年度から要旨集の販売は行わず、下記サイトに掲載予定です。

・部会講演会要旨集

九病虫ホームページ（**TOP PAGE-What's New!**）（10 月中旬掲載予定）
(<http://9byochu.ac.affrc.go.jp/main.html>)

・特別講演・シンポジウム要旨集およびビデオワークショップ資料

植物病理学会ホームページ（**研究集会（2015）**）（10 月下旬掲載予定）
(<http://www.ppsj.org/meeting.html>)

各自で要旨集をダウンロード・印刷して会場に持参下さい。